

## 第5学年 図画工作科学習指導案

ろ組 男子19名 女子19名 計38名

指導者 奥 俊 明

### 1 題 材 わたしたちの附属小美術館 ～あんなところや こんなところに～

#### 2 題材について

##### (1) 題材の位置とねらい

本題材は、身の周りの場所を、その様子や特徴を生かし、色紙や布といった様々な材料を使って、自分なりに楽しい空間につくりかえる造形遊びの題材である。

この期の子どもたちは、関心の対象が広がり、空想の世界に思いをはせ、自分なりのイメージをもって表現しようとする意欲が高まってきている。また、身近にある造形環境を生かし、発想し構想を練るなどして、見通しをもって表現活動を進めていくことができる。さらに、自分や対象を客観的にとらえ、自分や友達のをよさをより一層感じるようになる。

そこで、身の周りの場所を、その様子や特徴を生かして、楽しい空間につくりかえることは、周囲の様子を考え合わせながら特徴的な場所を見付け出したり、見付け出した場所の特徴を基に形や色、大きさといった造形要素を関係付けたりして、自分なりのイメージをつくりだしていく喜びを味わわせることができる。また、場所の特徴を組み合わせて新たな形を見付け出したり、場所の特徴から材料を工夫しながら新たに表現したりすることを通して、「つくる・見る・話す」ことと「考える」ことを連続・発展させながら、つくりだす力を伸ばしていくことができる。そして、場所や材料の形や色、大きさといった造形要素を基に、お互いの作品を鑑賞し、友達の作品のよさや自分の課題について交流することで、互いの発想や表現の共通点や相違点を比較し関係付けて、感じ取る力を伸ばしていくことができる。さらに、自分の思いやイメージに合った材料・用具、場所を自ら使ったり選んだりすることを通して、材料や場所の構成の仕方を工夫しながら、カッターナイフなどの用具を適切に使い、知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、身の周りの場所の様子や特徴を生かし、楽しい空間につくりかえる題材は、第6学年の題材「足あと発見！透明人間！？」で、足跡を見て発想したことを基に、場所の特徴を生かしながら、透明人間の動いている様子を表現する造形遊びの題材へと発展していく。

##### (2) 指導の基本的な立場

本題材で扱う場所は、身の周りがある普段はあまり気に留めない場所である。しかし、形や色、大きさといった視点で見ると、場所の面白い特徴が見えてくる。そのため、場所を探す際、何かに見立てたり、場所に合わせたイメージを膨らませながら見付けたりしていくことができる。そして、限られた空間の中で、材料を試行錯誤しながら構成する楽しさがある。これらのことから、場所や材料を構成的に組み合わせ、表現する楽しさを味わいながら、意欲的に取り組む活動を展開していくことができる。

具体的には、まず、場所の特徴を基に、思いやイメージをもって表現することができるようにするために、実際に身の周りがある特徴的な場所を見付ける時間を設定する。次に、つくりだす楽しさに気付くことができるようにするために、参考作品を鑑賞して、場所の特徴を基に、場所と関係付けた表現に着目できるようにする。そして、楽しい空間づくりについての自分のイメージと、場所の形や色、大きさといった造形要素とを関係付けながら、よりよい表現にしていけるために、部品を配置させ、友達と交流する時間を設定する。その際、形や色、大きさといった造形要素に沿って鑑賞したり、友達と感じたことを伝え合ったりしていく言語活動を通して、より豊かにイメージをつくりだせるようにしていく。さらに、終末の鑑賞においては、これまでに気付いてきた造形要素を基に鑑賞し、それぞれの楽しい空間を認め合えるようにする。

このような学習を通して、子どもたちは、身の周りの場所の特徴を生かして、構成を考え、できた形を基にさらに工夫を加えたり、友達の表現のよさを味わったりして、造形活動に意欲的に取り組むことができると考える。

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、場所の特徴をとらえ発想することについて(※1)は、多くの子どもが、場所の特徴に目を向け、自分なりのイメージをもつことができている。しかし、7名の子ども

実態調査 5年ろ組 38名 (4月中旬実施)	
1	場所の特徴をとらえ発想することについて ※1 発想できる(31名) 発想できない(7名) (発想できない理由) ・見付ける視点があいまい
2	周囲の様子を生かした発想について ※2 発想できる(20名) 発想できない(18名) (発想できない理由) ・部分と全体で場所をとらえられていない ・狭い視野で場所をとらえている
3	鑑賞活動について ※3 好き(36名) 好きではない(2名) (好きではない理由) ・似たようなものだと嫌 ・悪いところを見付けられそう
4	カッターナイフの適切な使い方について ※4 適切(28名) 適切ではない(10名) (適切ではない点) ・体に対して真っ直ぐ切る ・握り方 ・刃の向き
5	楽しい空間づくりをどのように楽しむか。 ※5 飾り付ける行為自体を楽しむ(7名) 作品をつくって楽しむ (31名)

が、特徴をとらえる視点が曖昧なため、場所の特徴を具体的にとらえることができている。そこで、具体的な場所を示しながら、形や色、大きさといった視点をもってとらえられるようにする。周囲の様子を考え、場所を構成的にとらえ発想することについて(※2)は、18名の子どもが、場所の周囲の様子を組み合わせるといった視点をもつことができている。これは、場所を全体的な視野で見ることができず、部分的な特徴に目を向けていることが考えられる。そこで、中間鑑賞を設定し、場所を周囲の様子といった全体的な

視点でとらえ直し、新たな視点で場所をとらえられるようにする。鑑賞活動について(※3)は、多くの子どもが意欲的に取り組むことができている。しかし、自分の作品を見せることに関しては、「好きではない」と答えた子どもが2名いる。理由として「似たようなものだと嫌」「悪いところを見付けられそう」を挙げている。自分の作品に自信がないことや友達との交流のよさを実感できていないことが考えられる。そこで、机間指導の中で、積極的に称賛をしたり、鑑賞活動後の感想を交流し、鑑賞を通して表現することのよさに気付かせたりする。カッターナイフの使い方について(※4)は、不適切な使い方をしている子どもが10名いる。そこで、切り方や持ち方について再度全体で確認し、掲示資料を使っていつでも用具の使用方法を確認できるようにしていく。楽しい空間づくりをどのように楽しむかについて(※5)は、作品をつくって楽しむ傾向が強く、場所の特徴を基にイメージしたことをはっきりともちながら活動を進めていくことが必要だと考えられる。このような傾向を踏まえて、子どもの志向の型に応じた発問や価値付けを行っていく必要がある。

### (4) 指導上の留意点

ア 「思いをもつ・見通す」段階では、まず、場所の特徴を生かし、楽しい空間につくりかえる面白さに気付くことができるようにするために、身の周りにある普段あまり気に留めない場所について、場所探しの時間や参考作品を用いて、場所の特徴や部品の構成から感じたことを互いに交流させる。その際、場所の特徴を具体的にとらえられるようにするために、形や色、大きさといった造形要素を視点に場所を見付けさせる。




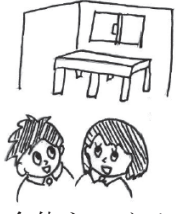

イ 「思いを表現する」段階では、楽しい空間を豊かにイメージできるようにするために、つくった部品を自分が選んだ場所に試しに置くなどして、場所の特徴を意識できる場を設定する。その際、場所の特徴や周囲の様子を生かした表現に着目して鑑賞させ、イメージをより豊かにつくりだすための場を設定する。

ウ 「思いを味わう」段階では、様々な視点から鑑賞できるようにするために、題材全体を通して、子どもたちが気付いてきた造形要素を基に鑑賞させる。また、友達と交流するよさに気付くことができるようにするために、互いの表現のよさに気付いたり、そのことを表現に生かしたりしたことについて、製作過程を振り返りながら価値付ける。

### 3 目 標

- (1) 身の周りの場所を、場所の特徴を生かし楽しい空間につくりかえる中で、場所の特徴や周囲の様子を考えるおもしろさに気づき、進んで製作することができる。
- (2) ○ 場所の特徴を生かした楽しい空間を発想するとともに、選んだ場所の周囲の様子を組み合わせながら構想することができる。  
○ 自分や友達の実現の中で、場所の特徴を生かして発想したり、材料の加工や構成を工夫したりするよさに気づき、そのよさを自分の表現へ生かすことができる。
- (3) 部品の形や組合せを工夫しながら、画用紙などを切ったり、曲げたり組み合わせたりして、カッターナイフなどの用具を適切に使い、表現することができる。

### 4 指導計画（全6時間）

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ	
思いをもつ・見通す	1 場所探しタイムや参考作品を基に、身の周りの場所を楽しい空間につくりかえることについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     e スペースが、涼しくて、楽しそうな場所に変身しているよ。                 </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <b>【見るポイント】</b>（授業で中心となる造形要素）                      ○場所の形・色・大きさ                      ○まわりの様子                 </div>	1	○ 場所の特徴を具体的にとらえ、イメージできるようにするために、身近にある特徴的な場所とそうではない場所の画像を提示し、形や色、大きさといった具体的な造形要素を観点にして比較させる。 ○ 場所の特徴を、体全体を働かせながら見付けることができるようにするために、実際に戸を開けさせるなど、場所に直接かかわる時間を設定する。その際、製作前後の様子を比較し、場所の特徴を生かして表現できたことを実感させるために、表現する前の場所を写真で撮らせておく。	
	2 題材のめあてについて話し合う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     場所の特徴を生かして、楽しい空間につくりかえよう。                 </div>			
思いを表現する	3 学習計画を立てる。 4 楽しい空間につくりかえる。 (1) 場所を見付ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     椅子の下は、細長くて暗い感じがするな。何か楽しい空間にできないかな。                 </div>  (2) 部品をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     きらきらする色紙をたくさん切って、星にしみてよう。ロケットもあると楽しそう。                 </div>  (3) ミニ鑑賞会をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     細長い特徴だけではなく、「人が座る」という点から、何か工夫ができそうだな。                 </div> 	4 (本時4/6)	○ 場所の特徴を生かした表現を、具体的にイメージできるようにするために、参考作品を提示し、見るポイントを基に気付いたことを話し合わせる。 ○ 用具を適切に使うことができるようにするために、教師が実際にやって見せ、カッターナイフなどの用具の適切な使い方について気付いたことを話し合わせる。また、随時確認できるようにするために、使い方について掲示しておく。 ○ <b>新たな見るポイントを基に、自分のイメージをより具体化できるようにするために、ミニ鑑賞会を行い、自分や友達の実現を、場所の形や色、大きさといった造形要素で比較させ、共通点や差異点を見出させる。そして周囲の様子といった新たな造形要素に気付かせ、見るポイントとしてまとめ、さらにイメージをふくらませるようにする。</b> ○ ミニ鑑賞会を通して生まれた新たな思いやイメージを表現に生かすことができるようにするために、ミニ鑑賞会後に製作する時間を設定する。	
	(4) 部品を組み合わせ全体をつくる。			1
	5 友達と表現を紹介し合い、お互いの工夫や発想のよさを認め合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">                     場所の特徴を生かして、楽しい空間につくりかえることができましたよ。○○さんの作品は、僕には思い付かないものがたくさんあったな。今度、生かしてみよう。                 </div> 			

## 5 本 時 (4 / 6)

### (1) 目 標

身近にある場所を楽しい空間につくりかえることに興味をもち、自分の表現について友達と交流することを通して、楽しい空間の構成を考えたり、場所の特徴や周囲の様子を生かした友達の表現のよさに気付いたりして、自分の思いに合わせて楽しい空間を表現することができる。

### (2) 本時の展開に当たって

本時では、思考の高まりを目的にした学び合いが重要だと考える。そこで、形や色、大きさといった見るポイントを基に自分と友達の表現を比較させ、「何か工夫できるポイントはあるかな。」と問うことで、「○○さんは、選んだ場所の周りにある窓から入る光を表現に取り入れているから、明るい感じがよく伝わるよ。」といった鑑賞活動を通して気付いた周りの様子や光といった新たな見るポイントを引き出しながら展開していく。

### (3) 実 際

過程	主 な 学 習 活 動	時間	教師の具体的な働きかけ
思いをもつ・見通す	1 題材のめあて、学習計画を確認する。 【見るポイント】 ○場所の形・色・大きさ ○まわりの様子	(分) ↑ 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習の見通しをもち、中間鑑賞の必要感をもつことができるようにするために、第1時で設定した学習計画を振り返り、ミニ鑑賞会の意義を確認する。</li> <li>○ 場所の特徴や周囲の様子を組み合わせて工夫するよさに気付くことができるようにするために、場所の形や色、大きさといった視点を基に、自分と友達の表現を比較させ、「何か工夫できるポイントはあるかな」と問う。その際、鑑賞活動を通して得た、新たな気付きを見るポイントとしてまとめていく。</li> <li>○ 友達の表現のよさに気付くことができるようにするために、見るポイントを観点として、製作前後の場所の様子を比較させ、場所の特徴を基にどのような工夫をして表現しているか話し合わせる。</li> <li>○ ミニ鑑賞会を通して得た気付きを基に、場所の特徴や周囲の様子を視点にしてさらに工夫することができるようにするために、製作の時間を設定する。その際、造形遊びで想定される志向の型に合わせた価値付けを行う。 (例) 「この材料の他にどんなものがあるとイメージしている世界に近づくかな。」 (作品志向型) 「ぐるぐる巻きにすると、壁みたいになるね。他の色を巻くとどうかな。」 (行為志向型)</li> </ul>
	2 学習のめあてについて話し合う。 ミニ鑑賞会をしよう。	↓ *	
	3 ミニ鑑賞会をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>作品志向型</p> <p>イメージ</p> <p>椅子の下に隠れる宇宙をつくってみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>行為志向型</p> <p>イメージ</p> <p>机の周りをテープで楽しく飾り付けよう。</p> </div> </div> <p>【つくりながら考える】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>いろいろな色の色紙を切っていると、明るい星になってきたぞ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>柱と柱を結んでいると、大きな壁になってきたぞ。</p> </div> </div> <p>【見て考える (ミニ鑑賞会)】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>椅子だから、座る人の足を使って、もっと楽しい空間にできそうだな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>机と机をテープでつなぐと、広くて楽しい空間になりそうだな。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>自分の表現      友達の表現</p> <p>↓      ↓</p> <p>比較</p> <p>↓</p> <p>【見るポイント】</p> <p>・場所の形、色、大きさ      関係付け</p> <p>・周りの様子      関係付け</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新たなイメージ</p> <p>座った人の足に向かって、宇宙船が飛んでいく様子を加えてみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>新たなイメージ</p> <p>机同士をテープでつなげて、もっと広い空間をつくってみよう。</p> </div> </div>		
4 製作する。	↓ *		
5 本時を振り返り、自分が工夫したことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%;"> <p>友達の作品を見てみると、自分では気付かなかった見方があったな。場所の周りの様子を考えると、もっと楽しい空間になったぞ。</p> </div>		20	
思いを表現する			
思いを味わう			